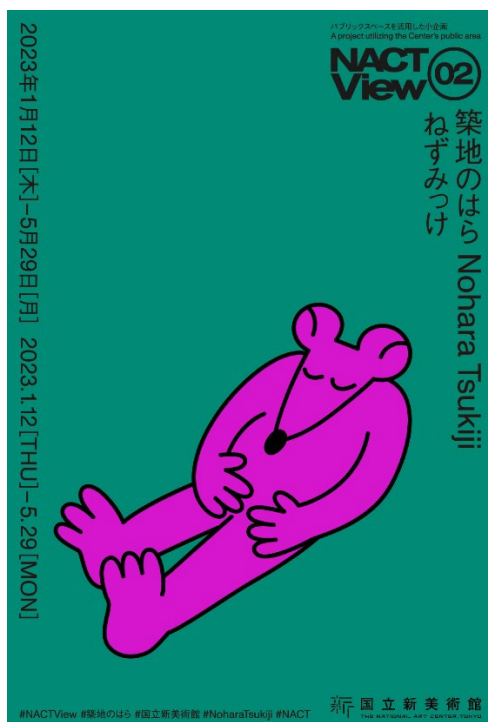


## NACT View 02 築地のはら ねずみっけ

展示期間：2023年1月12日（木）～5月29日（月）



「NACT View 02 築地のはら ねずみっけ」フライヤー画像 © Nohara Tsukiji

### 新世代のアニメーション作家・築地のはらによるプロジェクションマッピング。

#### 国立新美術館の意外な場所にビビットカラーのねずみが出没！

国立新美術館では 2022 年より新規事業として美術館のパブリックスペースを使った小企画シリーズ「NACT View」を開催しています。黒川紀章氏が設計した建築は、スペクタクルでありつつ、細部にまで意匠が凝らされています。多くの人が憩い、通り抜ける広場のようなパブリックスペースで、多くの皆さまに楽しんでいただけるよう、若手から中堅の美術家、デザイナー、建築家、映像作家を招聘し、現代の多様な表現をご紹介します。

その第 2 回目となる本展では、2 次元と 3 次元の融合をテーマに、実写にアニメーションを合成した映像やプロジェクションマッピングなど新しい切り口の作品を制作するアニメーション作家・築地のはら（つきじ・のはら、1994 年生）の作品を展示します。

## ■開催概要

「NACT View 02 築地のほら ねずみっけ」

展示期間 : 2023年1月12日(木)～5月29日(月)

休館日 : 毎週火曜日

※ただし3月21日(火・祝)・5月2日(火)は開館、3月22日(水)は休館

公開時間 : 美術館の開館時間に準ずる

展示会場 : 国立新美術館 1Fロビーほか(東京都港区六本木7-22-2)

観覧料 : 無料

主催 : 国立新美術館

企画 : 吉村麗(国立新美術館 特定研究員)

お問い合わせ : 050-5541-8600(ハローダイヤル)

ウェブページ : <https://www.nact.jp/2022/nactview-02/>

## ■作家プロフィール

### 築地のほら(つきじ・のほら)

1994年、神奈川県生まれ。

東京造形大学 アニメーション専攻を卒業後、東京藝術大学大学院 メディア映像専攻を修了。

2次元と3次元の融合をテーマに、アニメーション(主にねずみのキャラクター)を用いて面白い表現を模索している。修了制作「向かうねずみ」では第6回 新千歳空港国際アニメーション映画祭 日本グランプリ、第23回 文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門 新人賞 などを受賞。2021年には初の個展「のほらのほらっば」(町田パリオ)を開催。

<https://www.midorinonohara.com/>

## ■展示のみどころ

### ・建築の特徴を生かしたプロジェクションマッピング

美術館内の様々な場所を縦横無尽に動き回るねずみのアニメーションが、建築が持つフォルムの面白さを引き出します。

### ・美術館を探検しながら鑑賞するARアニメーション

専用のARアプリを用い、スマートフォンの画面でアニメーションを楽しむことができる参加型のバーチャル展示です。

## ■ 展示作品

### 《ねずみつけ》(プロジェクションマッピング/AR アニメーション)

「NACT View」シリーズ2回目となる本展では、目を引くビビッドカラーのねずみが館内の様々な場所に出没します。メイン展示として、エントランスロビー中央の2つのコンクリートコーンを含むカフェスペースと、乃木坂駅からの連絡通路という2つの空間にプロジェクションマッピングを展開しました。美術館を訪れた来館者がふと目を向けると、動くねずみの姿を意外な場所に発見することができるでしょう。ねずみは黒川建築の個性的な建造物の上を伸び伸びと動き回り、空間全体へと視線を誘ってくれます。また、本企画では専用のアプリを用いて、スマートフォン等の画面でAR アニメーションを鑑賞することができます。フロアに元々あるマークや新たに設置されたパネルの「ターゲット」を探して、館内を歩いてみてください。

### 『ねずみつけ AR』アプリダウンロード URL

・ iOS

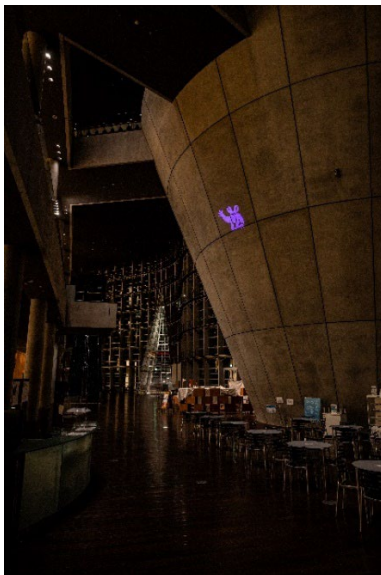
<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%81%AD%E3%81%9A%E3%81%BF%E3%81%A3%E3%81%91ar/id1662113060>

・ Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.NACTView02.Nezumikke>

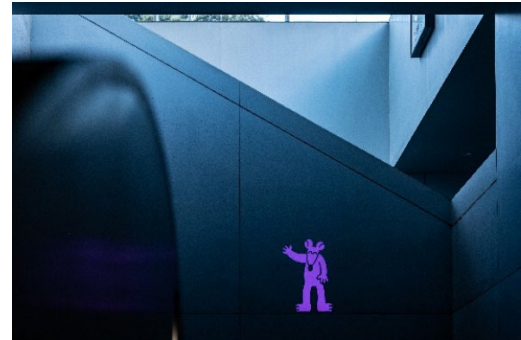
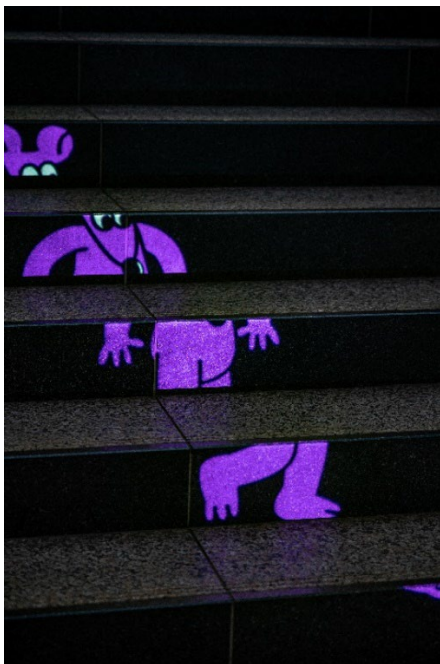
※一部の機種には対応していません。

### ●一階エントランスロビー





●地下鉄乃木坂駅連絡通路



築地のはら《ねずみっけ》2023年 国立新美術館 展示風景 撮影：梅田健太

■「NACT View」とは

「NACT View」は、若手から中堅の美術家、デザイナー、建築家、映像作家といった様々なジャンルの作家を、国立新美術館のパブリックスペースを使用して紹介する新たな小企画シリーズです。シリーズ名は、英語の館名「The National Art Center, Tokyo」の略称「NACT」と、「眺め、風景／見方、考え方」を意味する「View」に由来します。国立新美術館のパブリックスペースは、展覧会を鑑賞する人だけでなく、カフェやレストラン、ライブラリーといった施設の利用者から、ただ建物を通り抜ける人まで、様々な人が行き交う場所です。「NACT View」は、このような空間に作品を展示することで、美術館を訪れるあらゆる人が、気軽に現代の表現に親しめる機会となることを目指しています。今後、本シリーズと連動したワークショップやトークなども行っていく予定です。

■ 次回の予告

「NACT View 03 渡辺篤」

期間：2023年9月～12月（予定）

第3回目には、孤独・孤立という社会課題に対し、様々なアート・プロジェクトを通じ社会包摂のあり方を考察・実践する現代美術家の渡辺篤（わたなべ・あつし、1978年生まれ）の作品を2023年9月（予定）より展示します。

ウェブページ：<https://www.nact.jp/2022/nactview-03/>

## ■ 広報用画像

広報用画像をご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、お申し込みください。

### <画像ご使用に関する注意事項>

- ・ 広報用画像の使用目的は、プロジェクトおよび展示のご紹介のみとさせていただきます。展示期間終了後、上記の使用目的外では使用できませんのでご了承ください。
- ・ 広報用画像使用の際は、各画像のキャプションとクレジットを必ず掲載してください。
- ・ 広報用画像は全図でご使用ください。文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません。
- ・ ウェブサイトに掲載する場合は、コピーガードを施してください。コピーガード対応が出来ない場合には、72dpi 以下の解像度にしてご掲載ください。
- ・ 基本情報と画像使用の確認のため、グラ刷り・原稿の段階で国立新美術館 広報・国際室までお送りください。
- ・ 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープを1部お送りください。
- ・ 画像使用後は、データを破棄してください。
- ・ 掲載後、再放送や転載をされる場合は、広報・国際室までご連絡ください。

### 最新の広報用画像をご希望の方はこちら

<https://forms.office.com/r/VknDCRPiSk>

### 報道関係のお問い合わせ先

---

国立新美術館 広報・国際室 〒106-8558 東京都港区六本木 7-22-2

TEL: 03-6812-9925 (平日 10:00~17:00) FAX: 03-3405-2531 Email: [pr@nact.jp](mailto:pr@nact.jp)